



ほしい情報届いていますか—広報紙は毎月1日・15日に発行

役立ててほしい私たちの技術や経験



町シルバー人材センターは今年4月に発足し、第一線を退かれた人々への仕事のあっせんを行い、また利用者へは低料金で労力の提供を行い、超高齢化時代に対応できる団体として、また高齢者の生きがいづくりの手助けをする団体として活動しています。

健康で働く意欲のある高齢者の新しい会員制の就業システムとして、地域の発展に寄与することを目的として事業展開しています。

同センターでは、高齢者の知識・経験・技能を持っている人を常時会員として受付していますので、申込希望者は、同センター（☎66-8686）へ問い合わせください。

気軽に登録と活用を

同センターの

活動分野

- 屋内外の一般作業
- ▼公園清掃・樹木消毒・除草・草刈り・包装など
- 事務分野
- ▼文書管理事務・毛筆筆耕・あて名書き・受付事務など
- 管理事務
- ▼公民館管理・駐車場管理など
- 専門技術分野
- ▼補習教室講師・翻訳・通訳

- 技能分野
- ▼ふすま張り・大工仕事・植木の手入れ・相洋裁など
- サービス分野
- ▼福祉・家事援助サービスなど
- ▼折衝分野
- ▼検針・集金など

登録と活用の現状

四月から同センターに登録している会員数は合計百七十七人（九月末現在）となっています。逆に人材を活用した延日数は一千百五十五日とあって、人材の余力が多くありますので気軽に利用ください。（活動内容は左表のとおり）

会員登録し込みは

町内在住のおおむね六十歳以上で、働く意欲のある健康な方であれば、だれでも会員になれます。会費は月額二百円、年間二千四百円となります。入会手続きは、健康福祉課、日生・六瀬住民センター1備え付けの申込書に必要事項を記入し同センターへ。

職種別事業実績

区分	事項	申込数(件)	受注数(件)	登録会員数(人)	就業人員(人・日)
職別内訳	技術			10	
	技能	42	42	10	124
	事務整理	6	6	24	81
	管理	10	10	19	250
	折衝外交	6	6	1	14
	軽作業	62	62	41	606
	サービス	6	6	10	21
	その他	4	4	2	9
合計		136	136	117	1,105

※表の数値は平成8年4月1日から9月末日までの実績

11月17日(日)は参議院議員補欠選挙の投票日

欠員補充に伴う参議院議員補欠選挙の投票日は、十一月十七日(日)です。町内十三カ所で午前七時から午後六時まで投票事務を行いますので、必ず投票してください。

十一月十八日までに生まれた人で平成八年七月三十一日以前から引き続き住民基本台帳に登録されている人は、投票日に仕事の都合や旅行などを得ない事情で投票に行けない人は、十一月十六日まで

役場 階大会議室で不在者投票ができます。時間は午前八時三十分から午後五時までは、詳しくは、町選挙管理委員会（☎六六・八七〇八）へ。

県独自の賞などを受賞

県から、明るく住みよい地域づくりで活躍された人たちに「県独自の賞」が、また、ボランティア活動などを通して、こころ豊かな地域づくりなどに貢献されている団体に「県独自の賞」が十月五日、阪神県民交流大会において贈られました。敬称略

県独自の賞
 明るく住みよい地域づくりに貢献された人に贈られる「県独自の賞」が十月十二日県連合自治会大会で、次の人たちに贈られました。
 原 彦重(原) 井上俊夫(北野) 福井(弘野)

県独自の賞
 明るく住みよい地域づくりに貢献された人に贈られる「県独自の賞」が十月十二日県連合自治会大会で、次の人たちに贈られました。
 福井(弘野)

県独自の賞
 明るく住みよい地域づくりに貢献された人に贈られる「県独自の賞」が十月十二日県連合自治会大会で、次の人たちに贈られました。
 福井(弘野)

県独自の賞
 明るく住みよい地域づくりに貢献された人に贈られる「県独自の賞」が十月十二日県連合自治会大会で、次の人たちに贈られました。
 福井(弘野)

HIV検査の受診を

非加熱血液凝固因子製剤の投与を受けた方もしれないと思われる人は、なるべく早く血液検査を受けてください。投与されたと考えられる人は、次の条件を満たす人たちです。
 ▼時期 昭和53年1昭和63年

心配するよりもまず相談

期間中に次のような病気で入院したことがある人
 非加熱製剤を投与された可能性のある疾病
 ▼新生児出血症(新生児メレラ、ビタミンK欠乏症など)の病気で「血が止まりにくい」との指摘を受けた人
 ▼肝硬変や劇症肝炎で入院し、

出血の著しかった人
 ▼食道静脈瘤の破裂、消化器系疾患により大量の吐血のあった人
 ▼大量出血を伴う手術を受けた人(出産時の大量出血を含む)
 問い合わせは、川西保健所(☎五七・四三〇)へ。



フォトスナップあれこれ

第29回いながわまつり



11月3日、総合公園と文化体育館、生涯学習センターを会場とした「第29回いながわまつり」が盛大に開催されました。市内では、公民館活動、趣味などの作品展示や詩吟、コーラス・舞踊など日頃の成果が披露されました。城外では、例年人気を集めていた飲食団体の出展が0.1(オー)157防止のため自粛されましたが、フリーマーケットやバザー、野菜の即売など15,000人の人出で賑わいました。

10月から11月にかけてスポーツ・文化活動など各分野にわたるイベントが、各地で行われました。子どもから大人まで楽しめる軽スポーツや地域ふれあい運動会など毎週末にはイベントが開かれました。今回は、この1カ月間をカメラで追いつけ、楽しい笑顔、緊張した顔、得意な顔など、色々なひとと人の動きを写真を中心に紹介します。



江村時代から伝承されている舞踊「練り込み」が10月19日の日曜日、杉生・西郷地区の公民館で披露されました。



今年の出し物は、福城岡の鶴門や、大坊記平出目などの場面を、幼児から中学生までで子ども達、約60人が杉生の八坂神社で披露していました。

練り込み一柏原
柏原地区(10月12、13日に開)の3歳から小学6年生までの子どもたちが、ちょうちん持ちや思出蔵の名場面を八坂神社で演じた。秋祭り一色に染まっていた。当日は、練り込みに合わせて甲斐の子どもも多く一緒に参加し、思い通りに舞った秋祭りとなりました。



10月10日、日生中央駅前人の広場で「商工祭」が開催されました。同祭は、商工会が市民に会の活動内容を身近に知ってもらおうと企画、今年で8回目。同会の会員から寄せられた商品のチャリティーサーは大賑わいとなり、献金から身体障害者用車イス(大人用1台、小人用3台)が町社会福祉協議会へ寄贈されました。

賑う「商工祭」
10月10日、日生中央駅前人の広場で「商工祭」が開催されました。同祭は、商工会が市民に会の活動内容を身近に知ってもらおうと企画、今年で8回目。同会の会員から寄せられた商品のチャリティーサーは大賑わいとなり、献金から身体障害者用車イス(大人用1台、小人用3台)が町社会福祉協議会へ寄贈されました。



10月10日、日生中央駅前人の広場で「商工祭」が開催されました。同祭は、商工会が市民に会の活動内容を身近に知ってもらおうと企画、今年で8回目。同会の会員から寄せられた商品のチャリティーサーは大賑わいとなり、献金から身体障害者用車イス(大人用1台、小人用3台)が町社会福祉協議会へ寄贈されました。

いながわスポーツ祭

跳ぶ・走る・笑うスポーツイベント



10月27日、阿古谷・大島の各小学校区で晴天の中、競技種目に趣向をこらした「住民大運動会」が開催されました。松尾台小学校では、スリッパ飛ばしやデカバサ競争など、参加して楽しく、見て楽しい競技に熱い声援が送られていました。(写真左)



阿古谷小学校では、校区内の子どもたち全員参加をめざし、合わせて多くの父兄も参加していました。観客席では、目録の意見交換に華やかな親交を深めていました。(写真中)



大島小学校では、今年で2回目となった大島住民大運動会が開かれ、オーブン参加種目や、自治会村長種目に参加し、最後には情熱的ファイティングをみんなで盛り閉めました。(写真右)



10月19日の日曜日、杉生・西郷地区の公民館で披露されました。



10月10日、日生中央駅前人の広場で「商工祭」が開催されました。同祭は、商工会が市民に会の活動内容を身近に知ってもらおうと企画、今年で8回目。同会の会員から寄せられた商品のチャリティーサーは大賑わいとなり、献金から身体障害者用車イス(大人用1台、小人用3台)が町社会福祉協議会へ寄贈されました。



10月10日、日生中央駅前人の広場で「商工祭」が開催されました。同祭は、商工会が市民に会の活動内容を身近に知ってもらおうと企画、今年で8回目。同会の会員から寄せられた商品のチャリティーサーは大賑わいとなり、献金から身体障害者用車イス(大人用1台、小人用3台)が町社会福祉協議会へ寄贈されました。



10月10日、日生中央駅前人の広場で「商工祭」が開催されました。同祭は、商工会が市民に会の活動内容を身近に知ってもらおうと企画、今年で8回目。同会の会員から寄せられた商品のチャリティーサーは大賑わいとなり、献金から身体障害者用車イス(大人用1台、小人用3台)が町社会福祉協議会へ寄贈されました。

多くの観客を魅了文化イベント

11月15日から21日は秋の環境美化週間

心がけ 1つでできる まちの美化

山井 沙彩ちゃん
1歳2カ月(つじが丘)

西角 明久くん
1歳1カ月(北田原)

また、7才7歳ですが、とびつかりの美人になる予定です。ちょこまかときどきおしゃべりな沙彩です。父 隆・母 久美子さん

元気いっぱい明久です。お父さんとお風呂に入るのが大好きです。健康でたくましく、すくすく育つてくれています。父 光明・母 倫子さん

おひねり

11月15日から21日は秋の環境美化週間です。この期間中は、市内各地で清掃活動が行われます。ご協力をお願いします。

11月15日(土) 16時～18時
11月16日(日) 10時～12時
11月17日(月) 10時～12時
11月18日(火) 10時～12時
11月19日(水) 10時～12時
11月20日(木) 10時～12時
11月21日(金) 10時～12時

クリスマスコンサート

11月15日(土) 16時～18時
11月16日(日) 10時～12時

11月15日(土) 16時～18時
11月16日(日) 10時～12時

おひねり

11月15日から21日は秋の環境美化週間です。この期間中は、市内各地で清掃活動が行われます。ご協力をお願いします。

11月15日(土) 16時～18時
11月16日(日) 10時～12時
11月17日(月) 10時～12時
11月18日(火) 10時～12時
11月19日(水) 10時～12時
11月20日(木) 10時～12時
11月21日(金) 10時～12時

ゆいあいセンターだより

11月15日から21日は秋の環境美化週間です。この期間中は、市内各地で清掃活動が行われます。ご協力をお願いします。

11月15日(土) 16時～18時
11月16日(日) 10時～12時
11月17日(月) 10時～12時
11月18日(火) 10時～12時
11月19日(水) 10時～12時
11月20日(木) 10時～12時
11月21日(金) 10時～12時

いながわ特派員 報告

とびっきり

私たちの街のコンサートへ出かけよう

中谷中学校



顧問の先生と音楽室へ行く、もう部員たちは、パートごとに音合せをしていて音の過り、厳しい三年生の指導で部員は心をついに、きびきびと音を奏でていました。練習とは思えない緊張感と迫力を感じました。

「芸術の秋です。音楽鑑賞しよう。」と言う訳で、イナホール誕生と同時に町内3中学校合同コンサートが毎年秋に開催されていることを紹介します。大人顔負けの迫力ある練習のようすや顧問の先生たちの指導ぶりなどを各校を訪ねて聞いたり、コンサート当日も取材してみました。



イナホールの舞台上で日頃の練習成果を披露(写真はオプニング)

六瀬中学校



秋晴れの十月十三日、多くの観客を取寄せたイナホールは、中学生とは思えない堂々とした演奏で、観客を魅了していました。第一部から第三部にわたって十曲以上の聞き慣れた曲に思わず拍手がわき起こり、終了後もアンコールの拍手が響いていました。

みんなが一つの事に取り組み、上達していく姿を間近で見られるので、顧問をしてよかったと、思います。これからも生徒たちが、

猪名川中学校



自分の可能性を信じ、頑張っ演奏を続けてほしいです。合同演奏会は、三つの中学校や先輩、客演の人たちとも交流でき、とてもいい刺激に気がなるといいます。中学生のときにこんな大観衆の前で、また、たくさんの人たちに支えられて演奏できるなんて幸せだと思えます。六瀬中学校顧問 友成・石田教諭の声

生徒たちへのQ&A

- Q: 入部しようと思ったきっかけ
- A1: 入学式での吹奏楽部の演奏を見て
- A2: 音楽が好きだったので
- Q: やってよかったこと
- A1: コンクールに出場できたとき
- A2: 他の部活より感動が多いと思う
- A3: みんなで協力すれば何でもできると実感
- A4: 他の学校の人と友達になれる
- Q: やっててつらかったこと
- A1: うまくできなくて先輩に叱られたとき
- A2: 朝の練習は途中で眠くなる
- A3: 部員が男子生徒1人なのでさみしい
- A4: 夏休みなどの暑いときはつらい
- A5: 指導するのにお苦労した
- Q: オータムウインズコンサートへの想いは
- A1: 中学最後のコンサートなのでいい演奏がしたい
- A2: たくさんの人に見に来てもらいたい
- A3: 一番うまくできるようながんばりたい

*このQ&Aは、コンサート前の生徒たちの声です

つてほしい。また、今回の合同演奏会に対して、演奏者である生徒たちには、この幸運に感動し感謝

する気持ちを素直に演奏につなげてほしい。中谷中学校顧問 森本・長嶺教諭の声

山々に囲まれた静かな校舎の音楽室に入ると、小じんまりとしたクラブの練習風景がありました。それゆえ、先輩・後輩そして顧問の先生の指導が行き届いているようすがうかがえます。温かい音色が伝わってくる放課後でした。

会場での観客の声

お願いしますという挨拶から始まり、顧問の先生の指導の言葉に「はい」「はい」と礼儀正しく返事し、リズムに乗り、自信をもって練習していました。指揮者に集中する部員たちの輝く瞳は真実そのもの。本番がとても楽しめという感じでした。

部員に望むことは、音楽を通して人間性を高め、演奏において人に喜んでもらえるように心がけ、また普段の礼儀・挨拶などがしっかりできることです。合同演奏会では、音楽の楽しさや素晴らしい音をみなさんに伝えたい。生徒たちにとっても、幅広い年齢層の人に自分たちの音楽を聞いてもらい拍手を頂くことは、この上ない喜びだと思います。猪名川中学校顧問 森永・福山教諭の声

生徒たちの感想を一言

- ★「これからも、ずっとこのコンサートを続けて欲しい」
- ★「毎週聞きに来ているが、特に難度の高い曲が多かった」
- ★「卒業した今でも吹奏楽を通じて友達とながらってほしい」
- ★「我が子の演奏している姿を見て感動した」
- ★「これからも、ずっとこのコンサートを続けて欲しい」

町内の三中学を取材して、それぞれの部員たちが目的に向かって練習し、演奏している姿に心を打たれました。そして、熱心に指導されている先生に、またこれからの中学校に大いに期待を持ち、吹奏楽を通じて町内に音楽と人の和を広げていってほしいと思います。そして、やっぱりコンサートへ行こうですね。

編集後記

いながわ特派員

おもしろ川柳

今回のテーマは「虫の声」
三時です お腹の虫が鳴いています
冷え込みと 虫の声で 更ける夜
独唱が ひときわ澄んてる 虫の声
前川 正子(松尾台)
都築 篤子(松尾台)
田中 キク子(白金)
来月のテーマは「忘年会」です。応募方法は、十一月二十日までにハガキで町長公室広報広聴係へ。